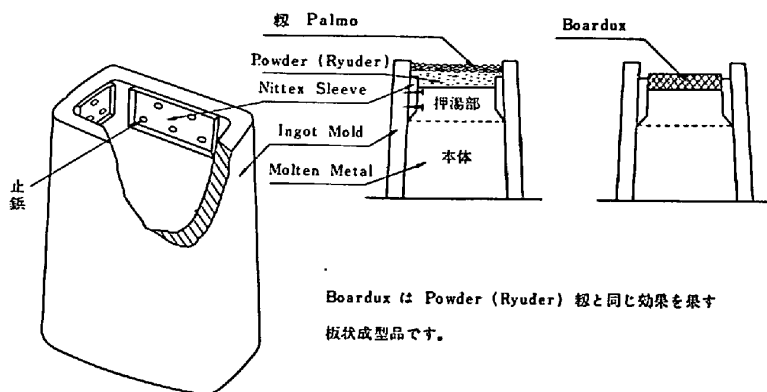


すぐれた鋼をつくる「製鋼助材」群です。

A. 製鋼用押湯保温材

製鋼工場に於いてキルド鋼造塊時に、インゴット頭部(押湯部)を保温し、溶鋼の冷却凝固を遅らせることにより、インゴットの歩留りを高め且つインゴットの内質を良好にする目的で使用される。

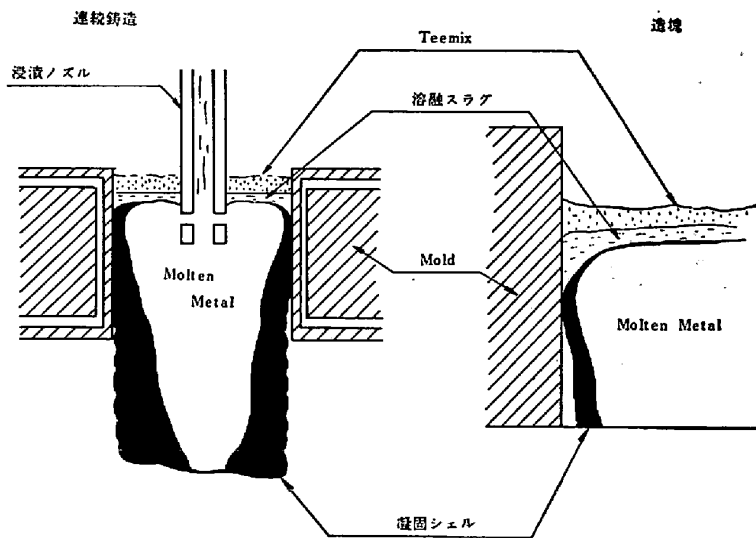
- ニッテックス スリーブ — (断熱性押湯保温材)
- ユーテックス スリーブ — (発熱性押湯保温材)
- パウダー — (粉末、押湯保温材)
- リユダー — (粒状、押湯保温材)
- ボードックス — (板状、押湯保温材)
- 靱類 (焼靱、生靱) — (断熱性押湯保温材)
- パルモ — (粒状、断熱保温材)



B. 粉末湯面保護剤

連続铸造または造塊で鋼を製造する時に、溶鋼の表面にふりかけ溶鋼の表面酸化を防止するとともに、粉末湯面保護剤が溶鋼の熱でとけて生成するスラグにより、鋳型—溶鋼間の潤滑作用をさせ、且つ、溶鋼の表面に浮遊する酸化物を吸収することにより鋼の表面を良好にする目的で使用される。

- C系—テミックス — (連続铸造用粉末湯面保護剤)
- B系—テミックス — (下注造塊用粉末湯面保護剤)
- D系—テミックス — (上注造塊用粉末湯面保護剤)



日鐵金属工業株式会社

精鋼材
事業部

本 社 東京都中央区日本橋 2-8-2 (横浜銀行ビル) 〒103 電話 03(274) 5311 大代表

昭和二十三年一月十五日
昭和五十年十二月二十五日
印刷納本 (毎月一回)
印刷部 (毎日発行)
編集兼発行人 東京都千代田区大手町一
東京都板橋区熊野町三十一
倉田 新太郎
発行所 経団連
電話 東京 (三九六〇二)
貯金口座 東京 一三三番
振替 東京 (三九六〇二)
分設価格 二〇〇円
料 無